



三島函南

函南西瓜組合の芹澤正弥さんは8月30日、緑肥作物のソルゴーで作った迷路に地元の保育園・幼稚園児を招待しました。迷路は特産「函南西瓜」をモチーフに、高台から見えるスイカのデザインが特徴です。参加した園児は協力して歩き進め、迷路を楽しんでいました。



富士

富士地区18支店は8月15日、独自の支店新聞を作成し、配布しました。第1号は支店職員や組織紹介を中心に、産直市や旬の農産物、JA商品などを多彩に掲載。次回は10月と来年1月にも発行を予定しています。



御殿場

御殿場地区販売課は7月28日、ゴーヤの出荷目ぞろえ会を開きました。生産者やJA、市場関係者などが参加し、等級や出荷方法などを細かく確認しました。本年度は7月下旬から10月中旬頃まで、約7.5トンの出荷を予定しています。



伊豆の国

女性部伊豆の国地区本部は7月21日、藍染め講座を開きました。染織作家の三橋由美子さんを講師に、部員5人が参加。藍の生葉をミキサーで液体状にし、ろ過して染め液を作り、シルクのストールを染め上げました。

富士宮

ファーマーズマーケット「う宮〜な」は8月3日・5日の両日、富士宮市フードバレー推進協議会と連携して市内の親子20組を対象に地産地消ツアーを開きました。店内売り場での講話や旬の夏野菜レシピなどを紹介しました。



伊豆太陽

伊豆太陽営農経済センターは7月5日、女性部「手芸クラブ」の部員を対象に東洋羽毛の寝具展示会を開きました。寝姿勢圧測定などを体感した部員は「寝ている時の圧力のかかり方が目に見えて分かり、参考になった」と喜んでいました。



なんすん

農業体験学校「あぐりスクール」の生徒は8月6日、産直市でハウスミカンやトモロコシなど特産品の実演販売を行いました。袋詰めや陳列などの準備を行い、PRポイントを考えながら大きな声で元気よく販売しました。



あいら伊豆

直売所「いで湯っこ市場」は8月12日、熱海高校2年生1人のインターンシップを受け入れました。朝礼であいさつの唱和、商品の搬入や野菜・果物の袋詰め、値札付け、陳列作業を体験し、JAの仕事や地場農産物について学びました。

DATA

風の詩

住所 伊東市十足267-11

電話 090-5002-6745

営業時間 11:30~  
(予約優先・限定数で終了)

定休日 火・水・木  
(田植え・稲刈りなど農繁期は臨時休業あり)

駐車場 あり(8台)



のどかな里山に建つ「風の詩」は、元教員の小川賢治さん・富子さんご夫婦が農業の6次産業化に取り組み農家レストランです。ご夫婦で野菜ソムリエプロを取得しています。

ランチは、数種類から選べる主菜に、煮物やあえ物、サラダなど、小川さんご夫婦が農薬を使用せずに栽培した野菜の副菜が何種類も付いているのが特徴です。

自家栽培のコシヒカリは甘く艶やかで、だしを効かせ塩分控えめで野菜たっぷりのみそ汁は、健康と食の安全・安心にこだわるリピーターに人気です。

賢治さんは「旬の野菜のおいしさや素晴らしいと伝え、小さな農家の元気な生き方も発信したい」と熱く語ります。同店や「いで湯っこ市場」でも手作りまんじゅう、ジャム、ケーキなどを販売し人気を呼んでいます。

自作の米や野菜をふんだんに野菜ソムリエこだわりのランチ

イチ推しながき



ランチ(風の詩セット) 1,320円(税込)  
主菜(6種類から選択可。写真は黒酢の酢鶏)、副菜(野菜料理4品)、サラダ、ゆで卵、ご飯、みそ汁、デザート、コーヒー  
※内容は季節により変わります。

風の詩

野菜ソムリエの店  
農家カフェ&レストラン



あいら伊豆編

